



高温で経過しており、現地情勢を考慮すれば、生育は平年より7-10日程度早まる見込みです。発芽は3/27前後の見込みです。休眠期防除は準備ができ次第、早急に進めてください。尚、土壤乾燥による発芽・開花の不揃いが心配されます。特に開花予定10日前頃からは樹廻り中心に灌水等を実施してください。

発芽予想 平岡：3/27頃 *参考：昨年3/27 平年4/5

開花予想 平岡：4/23頃 *参考：昨年5/1 平年4/30

果樹試験場エゾノコリンゴ発芽：2/8 *昨年比+9日

りんご発芽前の薬剤散布

- 例年並みに石灰硫黄合剤とベフラン液剤の2体系を記載しています。下記の内容を読み、どちらかを選択してください。
- 休眠期散布の目的：腐らん病・ハダニ類・カイガラムシ類の初期密度抑制

石灰硫黄合剤体系

散布時期：発芽前（3月中下旬）

散布薬剤	水	88ℓ
	スプレーオイル	2ℓ
	石灰硫黄合剤	10ℓ

散布日：3月 日

散布量 ℓ

対象病虫害：腐らん病・ハダニ類・カイガラムシ類

10アール当り散布量 300ℓ

【注意事項】

- ① 混用順：水 ⇒ スプレーオイル ⇒ 石灰硫黄合剤 *よく攪拌する。
- ② 温暖・無風の日を選び、幹や枝を十分洗うように散布する。
- ③ 注意：石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールに極力かからないようにする。

ベフラン液剤体系

散布時期：発芽前～発芽後7日以内（3月下旬～4月初旬）

散布薬剤	水	98ℓ
	展着剤	10ml

劇ベフラン液剤25 100ml（休眠期・6回以内 *但し、開花期以降は3回まで）

	スプレーオイル	2ℓ
--	---------	----

散布日：月 日

散布量 ℓ

対象病虫害：腐らん病・ハダニ類・カイガラムシ類

10アール当り散布量 300ℓ

【注意事項】

- ① 混用順：水 ⇒ 展着剤 ⇒ ベフラン液剤 ⇒ スプレーオイル *よく攪拌する。
- ② カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル1,000倍を加用する。
- ③ 温暖・無風の日を選び、幹や枝を十分洗うように散布する。

【重要】春の重点作業等は裏面をお読みください。

春の重点管理作業（腐らん病・ハダニ類対策、苗木の植え付け方法等）

1. 腐らん病対策 ＊詳しくは 2/17 発行の腐らん病対策特報をお読みください。

2 月から病部がわかり易くなっています。腐らん病斑を見つけ次第、早めに粗皮削り等の健全部への感染拡大に努めてください。病斑を放置すると、梅雨の期間に蔓延します。早期発見・早期治療を徹底してください。幹・枝部だけでなく、果台部のり病部も多数確認されています。

2. 粗皮削り（ハダニ類・輪紋病対策）

リンゴハダニ、カイガラムシ類は粗皮下等に越冬しています。休眠期防除前に粗皮けずりを行い薬剤が直接かかるようにしてください。また、カイガラムシ類の寄生が多い園では、散布前に金ブラシ等で削り落す作業を行ってください。輪紋病(いぼ皮病)の罹病樹(枝)も多々散見されます。「いぼ皮」を見つけ次第、必ず粗皮けずりを行い、輪紋病の発生源撲滅に努めてください。

3. 苗木の定植方法

- ① 植え穴は苗木の根の 2 倍の大きさと、土とユーキリン(1 kg)、もみがらくん炭(適量)、エアープイント(完熟堆肥)等を混ぜて埋め戻し、定植に備える。
＊ ユーキリン(3,900 円/20kg)、もみがらくん炭(510 円/300)、エアープイント(550 円/18kg)は、営農資材店にて取り扱っております。
＊ 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する
- ② 特に土壌が乾燥しやすいので、植え穴に水をたっぷり入れて植え付ける。(3 月下旬～4 月初旬に定植する)
- ③ 植え付け時は、根を放射状に広げ、各々の根に細土が密着するように丁寧に土をかける。太根の先端を剪定鋏で切っておくと、発根が良くなる。土をかけたら、苗木を軽く持ち上げるようにしながら足で軽く踏みつけて、たっぷり灌水を行なう。
- ④ 植え付けの深さ：接ぎ木部位が地面からわずかに出る程度とする。
- ⑤ 倒伏防止他：支柱を添えて固定する。
- ⑥ 剪定(切り戻し)：定植後に行い、地上部 30～50cm の高さで充実した芽の上で切り戻す。

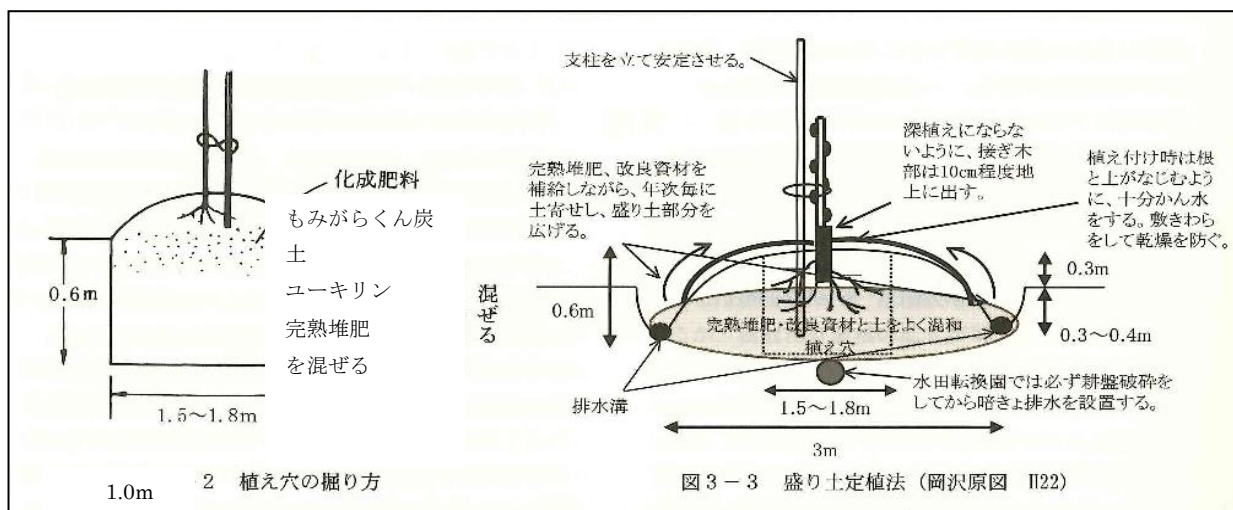


図1 基本の植え方

図2 排水性が悪い土壌の場合

4. 凍害対策：寒のもどりによって、若木・わい化樹の樹体凍害発生が心配されます。発生防止のため、以下の点にご注意ください。

- ① 稲わら等の資材を樹幹に巻きつけている場合は、除去を遅らせる。＊4 月下旬頃まで
薬剤散布が樹幹にかかりにくい状況になるため、わい化樹や 5 年生未満の若木のみ除去を遅らせる。
- ② 排水性の悪い園地では、暗きよや・明きよ等によって排水対策に努める。また、新たに苗木を定植する場合は浅植えに努める。(定植方法は上記参照)
- ③ 風当たりの強い園地では、防風ネット等で緩和に努める。

果樹特報 No2 発行予定：3 月末

- ◆ 4 月上旬の定期散布 ＊展葉 2～3 枚目
- ◆ 4 月中旬の特別散布 ＊展葉 5 枚目
- ◆ 開花期の定期散布 ＊ふじ開花後

【重要①】果樹特報は JA 中野市ホームページに公開中です。ホームページ内「営農情報」を選択し、8 桁の組合員コードを入力してください。簡単に閲覧できます。スマートフォンからもアクセス可能です。ご利用ください。

【重要②】毎週金曜の果樹園芸メールでも随時特報配信しています。配信希望の場合は営農センター（23-3933）まで。